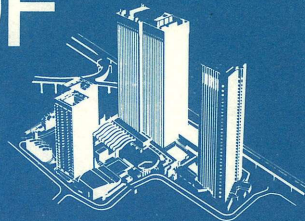


THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH WEEKLY REPORT



東京新南ロータリークラブ週報 October 31, 1986 No. 3

今年度のターゲット (M.A.T.カバラスRI会長)

ロータリーは希望をもたらす
ROTARY BRINGS HOPE

○ 本日の予定

昭和61年10月31日 (第4回)

卓話 「ロータリー小史」

次年度会長エレクト

田島 一郎 君

- ◎ ロータリーのクラブ奉仕とは、ロータリアンがクラブを円滑に管理運営していくために行なう様々の事を意味します。一例を挙げるなら、例会に出席すること、共に親睦を楽しむこと、プログラムに参加すること、委員や役員になること、会費を払うこと、などであります。ロータリアンでない人にロータリーの綱領について知らせることも大事な仕事です。

新しく創立されたロータリークラブとしては、まず全員が例会に出席してお互い同志の親睦を図ること、お互いをよく知り合うことから始めることが肝要です。これがクラブ奉仕の第一歩でしょう。

(You Murakawa)

昭和61年10月24日 (第3回)

司会 田辺 賢三 会長

♪ ロータリーソング : 日も月も星も ソングリーダー : 松尾 治樹 氏 (東京南RC)

卓話 ① 会長、副会長挨拶 ② 「例会運営について」

会長 田辺賢三 君

親睦活動委員長 中野博義 君

副会長 村川 優 君

来客紹介 中野 博義 君

出席状況	会 員	25 名中	出席	18 名	欠席	7 名
	来 客	9 名 (内都内	9 名	地方	0 名)	
			○ 会員出席率	72%		

お誕生日 10月31日 佐藤 定宏 君

October 24, 1986

◎ 会 長 報 告

国際ロータリー日本支局より、当クラブの加盟申請に対し
10月17日付で承認されたとの連絡がありました。
本日より、仮クラブではなく正式のクラブの例会となります。

○ 来 客 名 簿 (順不同・敬称略)

Vister	Vaubel Dirk	東京 南	RC	鏑ファウベル代表取締役社長
	後藤 一郎	〃		鏑 後藤花店 社 長
	前田 昭二	〃		前田外科病院 院 長
	松本 栄	〃		藤倉化成 鏑 取締役相談役
	松尾 治樹	〃		鏑松尾楽器商会 代表取締役社長
	佐々木森一	東京羽田	RC	建設業
	沼津 仁郎	東京城西	RC	佐伯商事 専 務
	沼津三千子	沼津仁郎氏ゲスト		
	中島 渉	新南RC武下君ゲスト		

- 10/24 は、ニコニコボックスがありませんでした。(次回頑張らしましょう)

<NOTE> 国際ロータリー発行、ロータリー入門より

1. 会員資格に関する職業分類の原則とはどういうことですか？

それは、一つの実業又は専門職業を代表する職業分類から1名の人を選ばれ、クラブの正会員となるという原則であります。例外：宗教、報道機関、外交官の職業分類とアディショナル正会員の規定。

2. なぜロータリークラブの会員は、アディショナル正会員を除き、各職業分類から1人と制限されているのですか？(報道機関、宗教及び外交官の職業分類を除いて)

その主な理由は次の通りのとおりです：

- (1) クラブが地域社会の職業界の新しい横断面となることができるようにし、さらに、特定のグループが支配的になることを防ぐためです。
- (2) 共通の関心を抱く人達の親睦でなく、多種多様な関心を抱く人達の親睦を育成するためです。

東京新南ロータリークラブのスケジュール

① 11月の例会

第1例会 11月7日(金)
第2例会 11月14日(金)
第3例会 11月21日(金)
第4例会 11月28日(金) ガバナー公式訪問

② 合同ゼネラルフォーラム (第275 地区千代田・京浜・山の手分区)

日時 11月17日(月) 12:00 P.M.～
場所 ホテルニューオータニ
出席予定者：田辺会長、村川、沖、川鍋、山下君

③ 「食べ歩きの会」(南クラブ合同)

日時 11月12日(水) 18:00 P.M.～
場所 霞が関ビル35F 東京会館(宴会場)
会費 フランス料理 14,000円
切 11月10日



◎ 未だ、お一人もお申し込みがありません。是非どうぞ。

④ 東京山の手ロータリークラブ認証伝達式(チャーターナイト)

日時 11月26日(水) 18:30 P.M.～
場所 新高輪プリンスホテル
切 10月31日

出席予定者：田辺会長、馬場、保科、入沢、勝山、川鍋、宮本
村川、中野、沖、斉藤、佐藤(定)
田島、田中、吉田、佐藤(幸)

⑤ 家族忘年会

日時 12月26日(金) 18:00 P.M.～
場所 全日空ホテル 「青雲の間」



◎ ご予定下さい。

会 員 寄 稿 文

サントリーホール紹介

山下 忠治

10月12日、私たち音楽ファンが心待ちにしていたクラシック音楽専用のコンサートホールが、斯界の注目を浴びてアークヒルズの中にオープンしました。

大ホールは座席数2006、座席形式は、我が国初のワインヤード型で、豊かで重厚な響きが場内に万遍なくひろがるように特別な設計がなされております。残響時間も 2.1秒という理想的なホールです。

サントリーホールは、この「ワインヤード型座席形式」になっているのが特徴で、ぶどうの段々畑状に配置された座席群の腰の側壁を音の反射壁として使い、全座席に美しい音を伝えるもので、近年、開発された音響学的手法です。ワインヤードは、ベルリン・フィルハーモニーの本拠地として知られるフィルハーモニーホールで最初に生まれたもので、ハンス・シャルーンの設計により1963年に完成しました。サントリーホールは、このフィルハーモニーホールが基本とされ、帝王カラヤンの勧めで実現したそうです。

「世界一響きの美しいホール」をめざして作られただけありまして、オープニング・コンサートの曲目であるベートーヴェンの「交響曲第9番二短調」の第1楽章が静かに鳴り出すと、その美しい響きに私の胸は高鳴り、感動に打ち震え、サヴァリッシュの名指揮とN響の近年にない？名演奏、加えてソリスト達の名唱、合唱団の美しく力強いハーモニーと相俟って、それは素晴らしい 1時間15分でした。サントリーの佐治社長みずから合唱団の一員となって実に立派な姿勢で歌っていたことは、感動を一層深いものにしておりました。

ところで、サントリーホールには、オーストリアのリーガー社製のパイプオルガンがあります。私はまだ聴く機会を持っておりませんが、74ストップ、4段鍵盤、パイプの数は5898本にのぼる巨大なものだそうで、これでバッハの名曲「トッカータとフーガ二短調」を弾きましたら、どんな壮大な音が出るのか楽しみです。次回はぜひ、パイプオルガンを聴きたいものです。

1986-87 年度 Tokyo New-South RC

会 長、副 会 長 就 任 挨 拶

田 辺 賢 三 君 村 川 優 君

田 辺 会 長 挨 拶

(記録・文責／事務局)

去る10月 3日創立総会後、直ちにR I 日本支局へ加盟申請を致し17日付でR I より承認されました。

本日は、ロータリーの社会的意義についてお話したいと思います。先ずロータリーの基礎はクラブ奉仕、そしてその原動力は親睦（フェロシップ）であります。どこの国、社会にも社会集団はございます。日本の社会集団は職場を中心にそこに帰属し、活動、そして集団自体が競いあって経済的に繁栄して参りました様に縦の連帯集団が多いようです。西洋では労働組合も横の連携があるように横の連系の多い社会のようです。日本では、一生仕事も遊びも同じ職場の仲間とだけ付き合うという人がかなりいるわけですが、それではフェロシップではなく、従がって社交性はあまり伸びない、むしろ職場、考え方、環境も異なる人達と付き合ってお互いを理解し、一緒にフェロシップを育てていくことが社交の基本であり軸で、そして社交性を深め同時に国際性を伸ばして行くことになると思います。

日本にも種々の団体がございます。日経連・商工会議所等は経済的利害関係があり、又ゴルフクラブ等は何か施設を利用するといったものとロータリーは全く異なり、一個人が一職業を代表しそして奉仕の理想に共鳴し合った人達全員が、クラブ奉仕、社会奉仕に参画して横の連帯を広げてゆく有意義な団体と考えます。

新南クラブの本年度の運営はクラブ奉仕の原動力である親睦の育成に重点をおき、親睦を重ねそして理解を深めクラブ奉仕の各分野での活動の基礎を築きあげていきたいと考えます。職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕は南RCの活動に当面は便乗させていただくことに致します。

新会員方は、「一見は百聞にしかず」といわれているように、「例会」のほかに「委員会」「クラブ協議会」「ゼネラルフォーラム」等に是非参画して、ロータリーの活動の精神を会得して頂きたいと思います。クラブの基礎作りは重要なことです。チャーターメンバー全員のご支援とご協力をお願い申し上げます。

村川 副会長挨拶

私はホテルの仕事一筋に40年になります。どちらかという職人です。ロータリーの例会がこのホテルで催されるので、先ずどうしたら皆様に喜んで頂けるかと考えます。「副会長」の重席に足りない点は、どうか皆様に補って頂きたいと存じます。

数年前、ホテルセンチュリーハイアットの仕事を致していた関係で、新宿RCへ入会し、初代幹事を勤めました。その当時の分区代理であられた南RCの山口栄一氏に大変お世話になりました。そのご縁で、新南RCに入会させて頂きました次第でございます。

南RCの子クラブとして生れた新南RCは、南RCのスピリットを受け継いでいくと思います。南RCは「どのようなクラブか」「何が重要視されているか」「どのように発展してきたか」を会員の方と勉強しながら新南RCをより発展させていくように一緒に仕事をさせて頂くということが今の心境でございます。例えば南RCの金森氏の精神の中に「二次的な事より皆なで仲良くやっていくには一体どのようにすべきか考えよう」と二次的というのは出席がどうか、何%かというようなことは重要視せずという話を承った事がございました。なるほど形式を尊び出席率が何%ということはロータリーの二次的なことであって、もっと基本を考えなければならないとしみじみと感じております。

副会長とは楽な仕事であると、会長が不在の時、点鐘すればよいと思っておりましたら、クラブ奉仕委員長兼任を仰せつかりました。先程、会長のお話にもございましたとおり、ロータリーでのクラブ奉仕が、如何に重要かを重々承知して一所懸命勤めさせて頂く所存でございます。どうぞ宜しくお願いします。

○ 次週の予定

昭和61年11月 7日(第5回)

卓 話 「例会運営について②」

親睦活動委員長
中野 博義 君

親 睦 活 動				S . A . A .	
受 付	来 客 紹 介	会 計	日 付	ニコニコボックス	会 場
佐藤（幸）	宮本 岩上	吉田 飛島	10/31	馬場 入沢	保科、青野
宮本 飛島	丸山 武下	佐藤 山下	11/ 7	河原 田中	安藤、馬場
武下	佐藤 岩上	丸山 中野	11/14	青野 安藤	石坂、入沢
山下	吉田 飛島	武下 岩上	11/21	石坂 馬場	河原、田中
吉田	丸山 山下	飛島 佐藤	11/28	河原 入沢	以上全員で

会長：田辺賢三 副会長：村川優 幹事：川鍋達朗 会報編集者：斉藤茂之

東京新南ロータリークラブ

事務所々在地：東京港区赤坂 2-22-19南部坂アネックス 201 号

電 話： 5 0 5 - 5 9 7 6 （ファクシミリは同番で切り替え）
